

研修名	自殺未遂者支援者研修（高齢者編）「高齢者の自殺未遂者にどうかかわるか」
講師	福岡大学医学部 精神医学教室 衛藤 暢明 医師
開催日時	令和6年11月1日（金） <基礎編> 13:00～15:00 講義 ～高齢者の自殺予防の基礎知識～ <実践編> 15:15～17:15 事例紹介 ～事例から学ぶ高齢者ケアのポイント～
開催方法	Zoom Meetings を用いたオンライン研修
参加者数	基礎編：28名／実践編：18名 ＊職種内訳：保健師、看護師、精神保健福祉士、社会福祉士、心理職、介護支援専門員、相談員、弁護士等
研修の内容等	<p>長年、医師として自殺未遂者支援に従事されている衛藤暢明先生にご講義いただきました。基礎編では、自殺予防に関する基礎知識を学び、実践編では、事例を通じた演習や参加者との質疑応答や意見交換を通して、今後の業務に活かせる知識を得ることが出来ました。苦しさを抱える人々の背景に目を向けること、自殺企図のリスクを過小評価しないことの大切さを改めて感じる研修でした。来年度も若者編、高齢者編ともに開催を検討しておりますので、ぜひご参加ください。</p> <p style="text-align: right;">（北九州市立精神保健福祉センター職員より）</p>
参加者の声	<p>「<b>たくさんの感想をいただきありがとうございました！ 一部をご紹介します。</b>」</p> <p><b>【基礎編】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・MCIの状態や軽度の認知症の方への支援として、進行の予防だけでなく、自殺予防での視点でも取り組むことの大切さも学ぶことができました。</li> <li>・SAD persons スケールで評価することができることを知りました。</li> <li>・死にたいことについてしっかりと話すことや、家族への声掛けなどを知ることができた。</li> <li>・特徴を知ること、情報収集時に生かすことができると思います。</li> <li>・TALKの原則の内容を、噛み砕いて教えていただいた点がわかりやすかったです。</li> </ul> <p><b>【実践編】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケールを活用し、自殺の危険に関する評価を行うことで、有効なスクリーニングが出来るように活用したいと思います。</li> <li>・事例を通して、SADPERSONS スケールで危険度の評価を自分なりに考えてみたことは、理解を深めるのにとても役立った。</li> <li>・先生の資料の「特に困難なケースでの対応の際に支援者に求められる考え方」は、私たち支援者に力をくださる言葉でした。</li> <li>・先生が具体的に事例等用いて教えてくださり、とてもよくわかりました。</li> </ul>